

一般社団法人日本人間工学会第 21 回理事会 議事録

1. 開催日時：平成 25 年 5 月 31 日（金）15:00～16:47

2. 開催場所：日本大学理工学部駿河台キャンパス 5 号館 2 階 524 会議室

3. 出席者：

・理事会構成員(27 名・定足数 14 名以上)

(理事) 青木和夫(理事長・学術・企画・ウェブアクセシビリティ支援委員長), 酒井一博(副理事長・学会組織検討委員長・企業の人間工学教育のあり方検討委員長), 榎原毅(広報), 大内啓子(総務), 大久保堯夫, 大須賀美恵子(編集), 河合隆史(企画・IEA), 三林洋介(財務), 津久井一平, 土屋和夫, 芳賀繁(安全人間工学委員長), 福田康明, 堀江良典(総務・第 54 回大会長), 三宅晋司(財務), 矢口博之, 吉武良治(人間工学専門家認定機構長)

[16 名]

(理事兼支部長) 横山真太郎(北海道), 北村正晴(東北), 斎藤真(東海) 和田親宗(九州・沖縄)

[4 名] [計：20 名]

(欠席者) 阿久津正大(関東・表彰), 小谷賢太郎(国際), 酒井正幸, 徳田哲男, 松岡敏生, 森本一成(関西), 村田厚生(中国・四国)

・監事：赤松幹之

・オブザーバー：斉藤進(学術), 藤田祐志(IEA), 横井孝志(ISO/TC159 国内対策委員長)

・事務局：栗田紀子, 西原彩, 米倉裕美

4. 議事概要

定足数 14 名を超える 20 名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後、定款に従い理事長を議長として議事を進行した。なお議事録署名人として議長、赤松幹之監事のほか、三宅晋司理事が指名され、承認された。

【審議事項】

(1) 第 1 号議案 平成 25 年定時社員総会資料(案)について

堀江総務理事による平成 24 年度事業報告案、三林財務理事による収支決算案の説明、赤松監事による監査の終了報告、堀江総務理事による平成 25 年度事業計画案、三林財務理事による収支予算案の説明があった。本件について諮ったところ、事業計画案(9)の臨時委員会・担当に「第 55 回大会担当」を加えることが必要であるとの意見が出され、承認された。本事項を修正した内容を平成 25 年定時社員総会に諮ることが承認された。

(2) 第 2 号議案 定款の変更案およびこれに伴う諸規程類の改訂について

堀江総務理事により、定款変更案とこれに伴う諸規程類の改訂について説明があり、審議を経て原案通り承認された。

【報告事項】

(1) 総務報告

(1-1) 一般社団法人日本人間工学会第 20 回理事会議事録

堀江総務理事より、メール審議を経て第 20 回理事会議事録が確定した旨、報告があった。

(1-2) 会勢報告 (4 月末)

2013 年 4 月末現在、会員数 1,622 名、賛助会員 32 社 33 口。

(1-3) 新事務局員紹介

JES 新事務局員 (兼 JENC 事務局員) として米倉氏の紹介があった。

(2) 第 55 回大会について

第 55 回大会は、2014 年 6 月 5 日 (木)、6 日 (金) に神戸コンベンションセンタ「神戸国際会議場」において、摂南大学・川野常夫大会長のもと開催する旨報告があった。大会名は、第 55 回大会 (学会設立 50 周年記念大会)。

(3) 担当・委員会報告

(3-1) 編集委員会

大須賀委員長より次号会誌の進捗状況と、3 件の掲載論文の取り消しについての一連の掲載記事が提示・報告された。

なお、掲載論文の取り消しに関連し、二重投稿を行った著者に対する処分については、現段階では規定がないため行うことができないが、今後、不正行為防止のためのガイドラインや規程類を学術担当・編集・広報委員会が連携し進めることが示された。

(3-2) ISO/TC159 国内対策委員会

横井委員長より、経産省からの予算が確定したことと、人間工学 ISO 規格便覧が JES の HP に掲載された旨報告があった。

(3-3) 表彰委員会

矢口理事より、日韓シンポジウムに関する表彰者の追加と、人間工学 GP 賞受賞案件について報告があった。

(3-4) 人間工学専門家認定機構

吉武機構長より、講演会と総会を 4 月 26 日に開催し、総会において学会正会員について専門家の年会費の値下げ等が決定した旨報告があった。続いて、専門家試験結果および会報発行についての報告があった。

(3-5) 50 周年準備委員会

斉藤委員長より、50 周年記念事業のアイデア募集について説明があった。

(3-6) 国際協力委員会

2014 年 5 月 21 日から 24 日に、ACED 国際会議が韓国済州島で開催する。詳細については次回理事会に報告する旨報告があった。

(3-7) 第 54 回大会

堀江大会長より、第 54 回大会の予稿集の紹介と開催のアナウンスがあった。

(4) 支部報告

(4-1) 北海道支部

横山支部長より、H25 年度支部総会・大会を 10 月から 11 月に開催予定である旨報告があった。

(4-2) 東北支部

北村支部長より、H25 年 5 月に支部役員会・支部総会を開催する旨報告があった。

(4-3) 関東支部

堀江理事より、H25年6月1日に支部委員会を開催する旨報告があった。

(4-4) 東海支部

斎藤支部長より、H25年5月18日に支部役員会と総会を開催したとの報告があった。

(4-5) 九州・沖縄支部

和田支部長より、支部大会をH25年秋に鹿児島で開催するとの報告があった。

(5) 協賛等の依頼

青木理事長より、7件の依頼について協賛をする旨報告があった。

(6) その他

(6-1) 今後の理事会日程

堀江総務理事より、第22回理事会を9月、23回理事会を12月、24回理事会を2から3月頃に開催予定であり、具体的な日程は後日、調整する旨報告があった。

(6-2) その他

赤松監事より、新たな国家成長戦略が現在多く行われているが、その中に人間工学を題材にした、方法論の確立から研究開発から規制緩和などを含めた全体をパッケージ化した政策を打ち出すことができないかについて、経産省から打診を受けている旨報告があった。本件について諮った結果、学会としては積極的に協力する方向で検討することとなった。

(7) 閉会

以上の議事を終え、16時47分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、議長、議事録署名人がこれに記名押印する。

平成25年5月31日

議 長 青 木 和 夫[Ⓞ]

議事録署名人 三 宅 晋 司[Ⓞ]

議事録署名人 赤 松 幹 之[Ⓞ]